

(別紙5)

整 理 番 号 2021P-017
補 助 事 業 名 2021年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業補助事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本体大会の開催により国内における自転車競技の普及促進、認知拡大を図るとともに開催地域の活性化を目指す。

2021年はコロナ禍のため、開催日数及びステージ数を減、UCI レースクラスを2.2に下げた開催となったが、今後も大会レベル(レースクラス2.1)及び規模(8日間8ステージ)を維持、運営クオリティの向上、自転車競技の人気発展を図ることにより、国内におけるスポーツ文化の醸成、自転車活用推進法に基づいた国民の健全な心身の発達及び自転車文化の創出を目的とする。

(2) 実施内容

2021ツアー・オブ・ジャパン開催 (<http://toj.co.jp/2021/>)

日本国内のUCI(国際自転車競技連合)公認のステージレースである「2021ツアー・オブ・ジャパン」を開催した。例年は、UCIレースクラス2.1、8日間8ステージ(8都府県)の開催であるが、2021年は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、UCIの特別許可を得た上で、3日間3ステージに短縮、また、海外チームの日本への入国が事実上不可能であったためレースクラスを2.2に変更し、国内チームのみを招聘しての開催とした。

今大会では、東京五輪自転車ロードレース男子日本代表の増田成幸選手(宇都宮ブリッツェン)が初日の富士山ステージで優勝し、総合リーダーの座を得ると、最終日の東京ステージまで守り切り、17年振りの日本人総合優勝を果たした。東京ステージでは、19歳の川野碧己選手(弱虫ペダルサイクリングチーム)がステージ優勝し、ポイント賞も獲得したほか、総合順位30位までに新人賞対象選手(23歳以下)が10名入るなど、若手選手が活躍した。

	
富士山ステージで勝利を挙げた増田成幸選手(宇都宮ブリッツェン)。トマ・ルバ選手(キナンサイクリングチーム)とのデッドヒートを制した。	競輪及び競輪補助事業のPRをコース上に横断幕を掲出したほか、会場内の看板に競輪マークを掲載し、実施した。

2 予想される事業実施効果

日本国内では最大規模の8日間8ステージで開催する本大会は、アジアでもハイレベルなレースとして認知されており、海外チームからの出場希望も多く寄せられる。そのため、日本人選手にとっては海外の強豪選手と共にレースを走る機会となり、国内選手の育成や競技力向上のために重要な位置付けの大会となっているだけでなく、海外の若手選手にとっては、本大会で実績を残したことで海外のメジャー・レースで飛躍する選手も多く、登竜門としての役割も果たしている。

また、本大会は、第2次自転車活用推進計画にも掲げられている「目標3：サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現」の施策となる国際的なサイクリング大会であり、今後も社会的なニーズが高まっていくものである。本大会の国際イベントとしての知名度が上昇することで、ロードレースのみならず自転車競技全体の人気拡大や競輪補助事業であることを通じ、競輪の魅力を広く伝えるツールとなる。

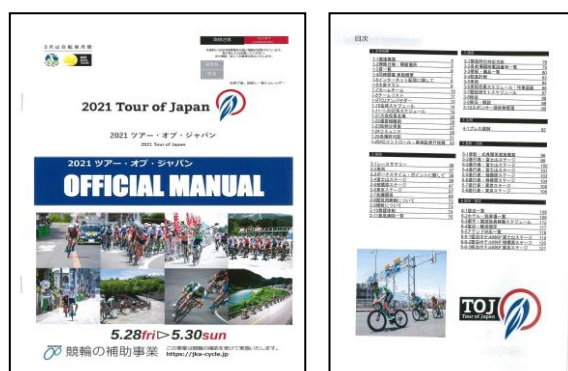
さらに、本大会は全てのステージで公道を使用したレースを実施していることから、視覚的に「自転車＝軽車両」であることを分かりやすく伝える機会として有効であり、ハード面では自転車通行空間の計画的な整備の推進、ソフト面では自転車による交通安全意識の向上の一助となり、自転車活用推進計画の「目標4：自転車事故のない安全で安心な社会の実現」に寄与する。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・2021Tour of Japanオフィシャルマニュアル

(別紙5)



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住 所：141-0021

東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル

代 表 者：会長 石黒 克巳(イシグロ カツミ)

担当部署：事務局 (ジムキョク)

担当者名：事業課長 村山 吾郎(ムラヤマ ゴロウ)

電話番号：03-4334-7952

F A X：03-4334-7957

E-mail：jifukyo@jifu.jp

U R L：<http://www.bpaj.or.jp>